

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】 令和4年7月29日

評価対象事業		評価者	深沢支所長	下平 和彦
市民-33	深沢支所管理運営事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	深沢支所
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民及び自治町内会連合会等
意図	市民生活の中で頻度の高い用件について、身近なところで行政サービスを提供するため。
効果	市民の利便性向上及び効率的な行政運営を図る。

2 令和3年度（2021年度）に実施した事業の概要

- ・戸籍届、住民異動届及び印鑑の登録又は廃止に係る申請の処理並びに諸証明書の交付を行った。
- ・国民年金及び国民健康保険の諸届出等の受理並びに国民健康保険被保険者証の交付等を行った。
- ・諸証明手数料等の収納事務を行った。
- ・自治町内会連合会等との連絡、調整等に関する事務を行った。
- ・深沢行政センターの維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	各種窓口サービスの提供		諸証明書交付数(通数)	14,931 / -	-	-	-
				0 / 10	10		
02	自治町内会連合会等調整事務	交際費	地域団体の活動実績(行事・会議等)(件)	81 / -	-	-	-
				0 / 10	0		
03	行政センター維持管理事務	光熱水費、総合管理業務委託料等	光熱水費削減率(対令和元年度比)(△%)	△1.01 / △5	△5	△5	20.20%
				32,038 / 32,858	31,990		
04	行政センター維持修繕事務	維持修繕	修繕予算執行率(執行額/当初予算額)(%)	97.75 / 80	80	80	122.19%
				70,433 / 72,054	2,970		
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	3,216 /			
			地方債	57,000 /	66,000		
			その他特定財源	782 /	777	749	
			一般財源	41,492 /	38,155	34,221	
			事業費の合計(千円)	102,490 /	104,932	34,970	
			人件費(千円)		54,622	53,916	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	6.5	6.0	6.0			
会計年度任用職員	5.0	7.0	6.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	各種窓口サービスの提供	支所窓口での「諸証明書交付数」は減少傾向にあり、実績値を把握することで、今後の適正な運営体制の構築を検討するため。なお、交付数の増減は目標値にそぐわないため設定しない。	本庁舎まで行くことなく、身近な支所で地域住民に行政サービス(届出、証明発行など)を提供した。	マイナンバーカードの普及に伴い、証明書のコンビニ交付数の増加や、届出・証明発行事務の減少が見込まれており、支所機能(役割)を見直す必要がある。
02	自治町内会連合会等調整事務	地域団体への活動支援として、団体の活動実績(行事・会議等)を把握するため。なお、件数の増減は目標値にそぐわないため設定しない。	地域内で各団体が活動できるように、会議室の提供や行事等のサポートを実施した。	各団体とも担い手の高齢化が進んでおり、若年層を含めた多世代間の行事継続等に支障が生じている。
03	行政センター維持管理事務	施設の安全管理上、保守・点検費用の削減等は見込めず、光熱水費の削減(節電や節水、温度調整など)に取り組むことで、環境負荷の軽減を図れるため、コロナ禍前の令和元年度光熱水費決算額(6,345千円)を基準として、「削減率△5%」(△318千円)を目標に取組んだが、厳冬などで空調のガス使用料金(量)が元年度より増加したことから、令和3年度の支出額は6,281千円、対元年度「削減率△1.01%」(△64千円)の結果となった。	来庁者に良好な状態で行政センター(支所・図書館・学習センター)が利用できるように施設を管理した。	良好な庁舎管理を目指し、光熱水費の削減や空調システムの見直しなど、コスト削減につながる技術的な検討が必要であるが、現状対応できていない。
04	行政センター維持修繕事務	施設を良好な状態で保つためには、適正な修繕を遅滞なく実施する必要があり、年度内に計画どおり修繕を完了をさせる観点から「予算執行率80%」を指標とし、令和3年度は97.75%の執行となった。	経年劣化した設備等の修繕を計画どおり実施することで利用者の安全確保と施設等の長寿命化を図った。令和3年度は、外壁改修やトイレ改修など大規模修繕を施工し、安全確保等に務めた。	施設の老朽化に伴い、今後も設備等の更新による維持修繕費の増加が見込まれ、計画的な修繕計画(予算措置)が必要となっている。
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2 適正な受益者負担を導入している
		○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 自治会・町内会 地区社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止  
 支所窓口機能の本庁舎への集約は、時間をかけて議論していく予定であるが、地域支援のあり方については、引き続き検討を進めていく必要がある。  
 建物・設備の老朽化に伴う大規模修繕等が必要であるが、施設管理の一元化も含めた公共施設再編計画との整合性を図るとともに、その財源の確保が課題である。

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	諸証明書交付数						単位	通数
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
交付実績の推移を把握するため	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	16,183	14,931					
	達成率	-	-	-	-	-	-	

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	戸籍・住民異動・印鑑などの届出と証明発行業務を併せて取扱う支所・出張所等の設置数と市域面積 (m <sup>2</sup> )							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	4(支所)	12(市民センター・分館)	1(支所) 3(出張所)	0(市民窓口センターは証明発行のみ)	3(住民窓口)	9(行政センター)	0(支所なし)	2(出張所)
	39.66km <sup>2</sup>	69.56km <sup>2</sup>	35.70km <sup>2</sup>	67.82km <sup>2</sup>	113.60km <sup>2</sup>	100.82km <sup>2</sup>	17.28km <sup>2</sup>	32.05km <sup>2</sup>

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	周辺自治体の支所等設置状況等を把握し、本市の将来的な支所機能のあり方を検討するため。
----------------------	--------------------------------------------